

平成 22 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社メディックグループ
 代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
 (コード番号 2369:東証マザーズ)
 問合せ先 執行役員管理本部長 門井 豊
 (Tel: 03-6415-4031)

特別利益（投資有価証券売却益）の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、当社子会社である株式会社メディックが保有する投資有価証券の一部売却を決議いたしました。これにより、特別利益（投資有価証券売却益）が発生する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、このたび平成 22 年 2 月 12 日公表の平成 22 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値並びに通期連結業績予想数値につきまして、下記のとおり修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別利益（投資有価証券売却益）の発生について

- (1) 売却時期 平成 22 年 8 月末まで（予定）
- (2) 売却理由 保有資産のキャッシュ化による財務体質健全化のため
- (3) 売却内容 非上場の外国株式 1 銘柄
- (4) 売却益 約 23 百万円

2. 業績予想の修正について

- (1) 平成 22 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正
 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	160	140	140	144	円 銭 817.05
今回発表予想 (B)	135	134	136	148	838.42
増減額 (B - A)	24	5	4	4	
増減率 (%)	15.3				
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 12 月期第 2 四半期)	173	227	226	216	1,226.79

修正の理由

当社グループでは、PGx基盤技術に関連したバイオマーカー創薬支援事業及び個人向けサービスのテーラーメイド健康管理支援事業を事業の柱として、基盤事業であるPGx試験支援サービスの推進をはじめ、配合設計、検体管理などの自社開発ソフトウェアの販売、DNA検査をキーとした新たな健康管理ソリューションの企画開発を行うほか、保有営業投資有価証券の売却、各種経費削減に努めてまいりました。

その結果、販売費及び一般管理費の大幅削減は実現し、各段階利益では前回発表予想数値に近い実績見込みとなったものの、投資・投資育成事業におきまして営業投資有価証券の売却遅延、及びバイオマーカー創薬支援事業におきまして検体管理システム開発の納期ずれ等があったことにより売上高で当初予想数値を約24百万円下回る見込みとなりました。

(2) 平成 22 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	300	250	250	255	円 銭 1,446.87
今回発表予想(B)	220	250	250	241	1,357.00
増減額(B-A)	80	0	0	15	
増減率(%)	26.7				
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 12 月期)	266	626	609	615	3,492.60

修正の理由

平成 22 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正及び特別利益の発生並びに最近の業績動向等を精査いたしました結果、全体として株式市況における冷え込みは依然厳しく、営業投資有価証券売却は遅延又は減額を余儀なくされる見込みであること、また、テーラーメイド健康管理支援における事業の再構築には未だ時間を要する見込みであること、などによりまして平成 22 年 2 月 12 日公表の平成 22 年 12 月期通期連結業績予想数値のうち売上高を減額修正することいたしました。なお、各段階利益につきましては、引き続き販売費及び一般管理費の削減に努めること等によりまして、当初予想数値を達成できるものと判断いたしました。

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上